

受付番号

卓越大学院プログラム申請書（令和5（2023）年）

提出日 年 月 日

申請者	フリガナ氏名	印	学籍番号	
	所属・学年		現指導教員名	
			大学院で希望する指導教員名	
	現住所	〒		
電話	() -	e-mail		
		携帯電話など面接時の連絡の取れるもの		

申請理由

本欄には、本プログラムで身につけたい能力、将来目指している研究分野、研究内容、キャリアパスの構想について、冒頭にその要旨を記述した上で、次の点について、適宜図表を用いて具体的かつ明確に記述してください。

- ① これまでの研究内容と研究成果、学会発表・論文・コンテスト受賞等の状況、申請を希望するに至った理由
- ② 将来関わろうとしている研究開発分野や組織(国内外の大学・研究機関・企業等)と、その理由
- ③ 修了(学位取得)までに、自己の能力として何をどのレベルで身につけたいのかと、修了後のプラン

要旨

<留意事項>

◆本書類はパソコンで作成して構いません。

◆本書類に記載した内容に基づいて、面接ではプレゼンテーション（発表時間：約10分）をしていただきます。

◆①の研究内容および成果については、分野の異なる人にもわかりやすく簡潔に説明してください。

◆本プログラムでは、「材料科学」と「電力工学」（具体的には制御工学とパワーエレクトロニクス）をコアとしたすべての産業界の根幹をなす技術（ルートテクノロジー）を「情報工学」の素養に基づき革新する卓越した人材の育成を目指しています。大学院で希望する本学の指導教員と相談の上、②の希望する研究開発分野やテーマが「材料科学」、「電力工学」、「情報工学」とどのように関連するのかを説明してください。

◆申請書をプリントアウトする際は両面印刷してください。

（提出時には青色文字の部分は削除ください）

申請理由（続き）

卓越大学院プログラム推薦書（令和5（2023）年）

申請者 氏名 _____

指導教員 所属・氏名 _____ 印

指導教員の推薦

以下の内容について客観的に評価して下さい。

- | | | | |
|---|--------------------|-----------------------------|---|
| 【 | ①応募者の能力、適性 | ②国内外の大学・研究機関・企業等との連携の可能性と意欲 | 】 |
| | ③日本学術振興会のDC1取得の可能性 | | |

※本プログラムでは、DC1の獲得を目標としています。

・応募者の能力及び資質は、過去5年間で指導した学生の、 5%以内、 10%以内、 20%以内
該当する項目にレ点を付けてください

※推薦書は、4年次の指導教員が記入後、封筒に厳封し、学生募集要項に記載の提出先へ提出してください。